

令和2年度東京支部

総会のご案内

10月10日(土) 12:00

(受付:11時~)

場所: サンミ高松7丁目店

東京都中央区銀座7-13-20

会費: 男 性 8,000円

女 性 7,000円

29歳まで 7,000円

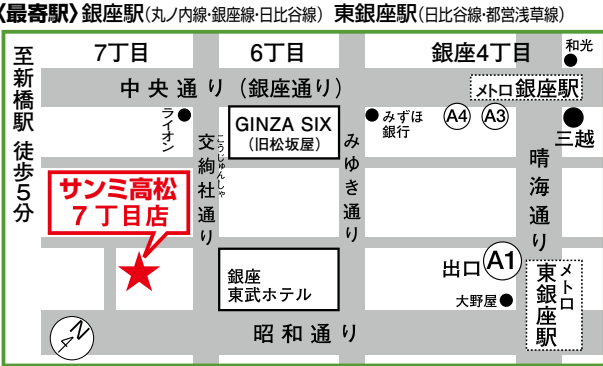
学 生 無 料

問い合わせ先電話 03-5568-3320

高松商事(株)内 紫雲会東京支部

事務局 漆原慎二

サンミ高松7丁目店 案内地図



令和2年(2020年)

第14号

発行 者 紫雲会東京支部長 北條 勇

印刷 所 (有)ひまわり印刷

〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9 高松商事(株)内 紫雲会東京支部事務局 ☎03(5568)3320

コロナウイルスの今後の状況によっては東京、大阪支部の総会が変更になることもあります。

東京支部長挨拶

紫雲会東京支部長 S 39年卒 北條 勇



新年を迎え、令和2年は私にも皆様にとっても記念になる年だと胸を膨らませました。

まず、夏には2020東京オリンピック・パラリンピックが56年振りに日本で開催されます。

そして、母校創立120周年記念式典、更には大阪支部70周年記念総会が計画されていきました。

また、母校の部活で全国大会に出場してくるのは何部だろうかと思いを馳せていました。

第一弾として出だしよく、年明け早々、バレーボール部が春高バレーに出場したので、東京支部も多くの方が応援に駆けつけました。

高松からは春高バレーでは初めて、ブラスバンドとチアガールが応援に来るなど大いに盛り上がりました。

ところが中国武漢で発症したと言われる「新型コロナウイルス」の感染拡大、そして横浜港では「ダイヤモンド・プリンセス」から続々と集団感染者が増え、そのうち全国、海外、特に欧米を中心に4月上旬現在100万人を超えてきました。

そうした影響で、3月母校での紫雲会入会式が中止、卒業式も縮小して行われました。部活動で全国大会に出場する、柔道部やハンドボール部卓球部も大会が中止になり、選手は悔し涙を流すことになり、母校

会費納入のお願い
一般会員の会費を昨年から変更させて頂きました。皆様、会費のお振込をお願い致します。

は出場が出来ませんでした。春の選抜野球大会も中止になり、どの部の選手たちも一生に一度の出場を夢見て、日頃から練習・努力したことを思うと辛い出来事です。

また、プロ・アマを問わずスポーツ界がすべて大会中止となつています。唯一開催した大相撲春場所は無観客で行われました。

この原稿を書いていた折に、大阪支部から6月開催予定の「70周年記念総会」を9月に延期するとの一報が入りました。

そして、楽しみにしていたオリンピック・パラリンピックも1年延期になりました。その後、インターハイ、夏の甲子園大会も中止となり、懸念していたことが現実となつてしまいました。

東京支部も4月に開催予定していた、女子会の行事も中止となりました。その後、東京支部7月の定期総会も10月に延期することを決めました。

こうした暗いニュースばかりでモチベーションが上がりますが、皆さんも同じ思いで日々を過ごしていると思います。

日本政府は「緊急事態宣言」を発令し、東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡を対象に外出自粛要請が出ました。その後、他の地域でも外出自粛要請が出ており、政府は対象を全国47都道府県に拡大し、多くの国民が行動を制限されたストレスが溜まる生活をしています。多くの人が、3密(密閉・密集・密接)を避けるため外出を控えており、一日も早く、この事態が収束して皆さんが心配なく日常の生活ができることを願うばかりです。

全国の小中高校も休校が続いており、新学期が始まって、休校で授業も部活も出来ない状況ですが、母校は4月に入り部活も出来ることが報じられ、生徒も我々も喜んでいました。1週間もたたないうちに休校となり、当然部活動も出来なくなつたと知りました。

紫雲会活動が従来のように皆様と一緒に出来る日が早く来ること、それまで皆様とご家族を含めて、コロナウイルスに感染しないように気を付けて生活をして頂きたいと願います。



バレーボール部
春高バレー
4年ぶり 第72回大会出場
※関連記事／5面・8面・10面



野球部
第101回全国高校野球選手権出場
※関連記事／4面・5面・8面



ヨット部
男子種目
和歌山インターハイ
茨城国体 優勝!
※関連記事／5面・10面



吹奏楽部
令和元年12月15日
第47回マーチングバンド全国大会 2年連続銀賞獲得
※関連記事／5面・8面・10面



柔道部
令和元年度インターハイ
男子女子個人戦・団体戦に出場
※関連記事／5面



紫雲会東京支部 令和元年度 会計報告			
期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日 単位:円			
収入		支出	
前年度繰越	1,501,037	総会費用	1,305,150
総会会費	1,099,000	総会案内発送費	180,084
お祝金	40,000		
役員年会費	435,000	事務消耗品・通信費	91,703
一般会費	593,000	旅費交通費	113,886
元年度分 552,000		慶弔(表彰含む)	45,162
前年度分 41,000		振込負担金	48,906
会報賛助金・広告費	464,000	会議費補助	365,320
賛助金 175,000			
@5,000X26名 130,000		役員会	85,800
@3,000X15名 45,000		常任理事会	66,400
企業広告 260,000		年次幹事会	134,000
@20,000X3社 60,000		各委員会	79,120
@50,000X4社 200,000			
30年度分 20,000		会報発行費13号紙	347,490
令和2年度分預かり 9,000		ホームページ更新委託費	51,756
		90周年記念基金	100,000
本部補助金	300,000	事務局費	50,000
寄付金	20,000		
四国新聞広告役員預り分	52,000	四国新聞広告費 春甲子園分	54,000
		四国新聞広告費 夏甲子園分	54,000
		全国大会応援費用	41,990
受取利息	1	全国大会出場支援	160,000
(当年度収入合計 3,003,001)		(当年度支出合計 3,009,447)	
		次年度繰越	1,494,591
計	4,504,038	計	4,504,038

* 役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の約半額と交通費の全額個人負担

* 常任理事会は2回開催、補助は1回のみ

* 各委員会の出席者は、会議費の約半額と交通費全額個人負担

令和元年度

東京支部活動報告

令和元年度支部活動は、昨年の定期総会で承認された活動計画に沿って、支部会員の皆様のご支援ご協力をいただきほぼ計画どおりに達成することが出来ました。

7月7日には定期総会を開催し、162名の出席のもと有意義な総会となりました。

親睦・交流委員会では、第14回ゴルフ会をCPGカントリークラブで、第13回目帰りバス旅行「ムーミンバレーと小江戸川越を散策する旅」をそれぞれ実施。

会報13号を発行し、広く会員の皆様と令和2年3月の卒業生全員に配布して支部活動状況をお知らせしま

令和元年度

付議事項

- 令和元年度の付議事項は決議を要するもの5件、報告事項7件でしたが、すべて総会にて承認されました。
- 決議事項の内容は、
1. 令和元年度会計報告及び会計監査報告

2. 令和元年度事業に関わる予算

した。

東京香川県人会は第101回記念総会を11月14日に開催され、紫雲会東京支部から28名の出席がありました。

令和元年度 第14回

ゴルフ大会のご報告

親睦・交流委員長 S 39 年 卒 大森 正

秋晴れの好天の下で楽しい親睦ゴルフ会でした。

今回も前回に引き続き若手2名の方の初参加がありました。49年卒の稲田静夫さんと54年卒の堀眞英さんです。

そのお二人の大活躍で大いに盛り上がりました。堀さんは見事に三位入賞を果たしました。

今回の参加者は17名と落ち込みました



3. 新常任理事候補（3名）
選任の件 理事（10名）辞任の件
4. 役員任期（支部長以外の全員の重任）
5. 細則一部改訂（令和2年4月1日より支部長年会費50,000円を30,000円に変更）
- 報告事項は
1. 紫雲会本部総会、大阪支部総会にそれぞれ出席
2. 紫雲会懇談会開催（紫雲会本部、大阪支部、東京支部、学校）
3. 10月2日にゴルフ大会、10月10日にバス旅行をそれぞれ実施
4. 「紫雲会東京」会報13号を5月末に発行送付しました
5. 東京香川県人会総会に東京支部より28名の出席
6. 年次幹事会を5月25日に開催
7. 支部活動に貢献で1名表彰

令和元年度の親睦バス旅行

『北欧ムーミンの世界を体感し
小江戸川越を散策するゆったり旅』

親睦・交流副委員長 S 39 年 卒 桑島恵美子

令和元年10月10日（木）爽やかな秋空の中 池袋を出発し、参加者の皆様のご協力で楽しい親睦旅行が実施できました。

今回は、ゆとりのあるバス旅行をと考えていましたが、残念ながら慌ただしいものとなってしまいました。ムーミンバレーパークや川越散策は、それぞれゆつくりと見て回る時間が必要な場所でしたのに、企画者として申し訳なく感じています。

反省点は多々ありますが、良かった点もありました。今回のバス旅行に34名もの参加者があったことです。最初は申込みが少なく心配していましたが、いろんな方々のご協力と声掛けがあり、にぎやかに催行することができました。

が、40年卒以降の若手が10名参加して若返り化が図られています。

今回は一段の若返りをいたしたく、40年、50年代の同期方々での参加を切望いたします。

第14回「支部ゴルフ大会」の結果について

開催日 令和元年10月2日（水）

場 所 CPGカントリークラブ（千葉県市原市）

参加者 17名

成績

優勝 久保文典（45年卒）

準優勝 池下高広（57年卒）

第3位 堀 眞英（54年卒）

ベストスコア 池下高広（57年卒）

次回大会は、令和2年10月7日（水）に同クラブにて開催予定です。

新規参加者大歓迎です。同期会を兼ねて多数のお申込みをお待ちしております。

全国都道府県
対抗女子剣道大会出場

日 4 年 卒 谷本多代

この大会は幅広い年齢や様々な職業で構成されている大会です。先鋒は高校生、次鋒は大学生、中堅は高校生・大学生を除く18歳〜35歳、副将は35歳〜45歳、大将は45歳以上でチームを作り日本一を目指して女性剣士たちが戦います。また、女性剣士の最高位と言われている七段の先生方が全国から集まり審判をしていただけでも光栄で身の引き締まる大会となっています。



初戦は栃木県との対戦で、先鋒は1本先取で試合が流れていたのですが、相手チームに2本取り返され1本差で大将の私に試合が回ってきました。1本を取れば同本数となりチームは代表戦という場面でした。



が、その1本を取り切れず2対1で敗退し、私自身とても課題の残る試合となりました。試合後に恩師の言葉を思い出し「その時の試合で負けたのではなく、試合までの心の使い方、負けただけである。技や体力で差をつけようと考えないでむしろ心を大切にしない」というものです。

周りの人たちへの気遣いや思いやりの心、また日々の取り組み方にどれだけ心を込めているか。試合に勝つことを目標とするのではなく、まず心を大切にこれからも日々精進していきたいと思っています。

「剣は心なり 心正しからざれば 剣又正しからず 剣を学ばんと欲すれば 先ず心より 学ぶべし」



紫雲会東京支部 令和2年度 予算			
期間: 令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位: 円			
収入		支出	
前年度繰越	1,494,591	総会費用	1,332,600
総会会費	1,230,000		
お祝金	30,000	総会案内 会報発送費	180,000
役員年会費	435,000	事務消耗品・通信費	125,000
一般会費	593,000	旅費交通費	175,000
		慶弔	40,000
会報賛助金・広告費	421,000	振込負担金	50,000
賛助金 170,000		会議費補助	444,000
@ 10,000X1名 10,000		役員会	144,000
@ 5,000X26名 130,000		常任理事会	84,000
@ 3,000X10名 30,000		年次幹事会	96,000
企業広告 260,000		各委員会	120,000
@ 50,000X4社 200,000			
@ 20,000X3社 60,000			
賛助金元年度に入金済 - 9,000		委員会補助金	50,000
		年次幹事委員会同期会助成金	50,000
本部補助金	300,000	会報発行費14号紙	360,000
		ホームページ更新委託費	70,000
		事務局費	50,000
		90周年記念積立	100,000
		母校活動支援	200,000
		予備費	100,000
当年収入合計 (3,009,000)		当年支出合計 (3,276,600)	
		次年度繰越	1,226,991
計	4,503,591		4,503,591

* 役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の半額程度と交通費の全額個人負担

* 常任理事会は2回開催、補助は1回

* 各委員会の出席者は、会議費の約半額と交通費全額個人負担

- 本年度も紫雲会東京支部定期総会を開催しますので、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

今年で87回目の総会となりますが、実行委員会が一生懸命の企画で、皆様をお待ちしておりますので多くのご出席をお願い致します。
1. 日時

令和2年10月10日(土)
12時～16時
(受付は11時～ お早目にお越しください)
2. 場所

サンミ高松7丁目店
東京都中央区銀座7-13-20
電話 03-3546-8182
3. 交通

東京メトロ 日比谷線「東銀座駅」徒歩5分、銀座線「銀座駅」徒歩
4. 会費

1面参照
5. ビンゴゲーム・盆踊り

支部や役員のご寄贈で商品を用意しています。お楽しみください。
6. 作品展

今年で13回目の総会併設展示会で、会員の力作(絵画、書道、写真等)を是非ご鑑賞ください。
7. 次第

開会、校歌斉唱、挨拶、報告、審議・役員人事、乾杯、懇談、ビンゴゲーム、万歳三唱、閉会
(若干の変更はあります)
8. お願い

会報に同封の「総会出欠ハガキ」を9月12日(土)までに投函くださるようお願い申し上げます。

令和2年度

東京支部定期総会のご案内

令和2年度

支部活動計画

本年度は次の活動計画を推進いたします。

1. 組織
- ① 役員人事
(新任)
常任理事候補 (1名)
S 40 年卒 鈴木 伸二 様
S 32 年卒 安西 彰 様
理事候補 (1名)
H 2 年卒 和波 高代 様
- (退任)
副支部長
S 32 年卒 安西 彰 様
(常任理事に就任)
副支部長
S 39 年卒 桑島恵美子 様
常任理事
S 40 年卒 谷川 生市 様
理事
S 30 年卒 吉田 進 様
理事
S 35 年卒 多田 輝雄 様
(昨年度総会で承認済)
② 常任理事会委員長
総務委員長 (新)
S 51 年卒 萬納 宏俊 様
HP 委員長 (新)
S 45 年卒 久保 文典 様
- ③ 会議
総 会 1 回 / 年 開催
10月10日(土)
役員会 1 回 / 年 開催
3 月
表彰委員会 1 回 / 年 開催
3 月
常任理事会 2 回 / 年 開催
11 月・3 月
年次幹事会 1 回 / 年 開催
5 月

- 8 委員会
(総会 親睦交流 表彰検討 会報 総務 年次幹事 ホームページ 女子会) 随時 / 年開催

2. 親睦・交流事業

- ① 親睦交流 (女子会と共同企画) そーだ 高松行こう
② ゴルフ大会 下記参照
③ 女子会 (紫雲オリーブ会) 開催中止
④ 母校スポーツで東京大会時の団体戦応援
⑤ 東京香川県人会定期総会 11 / 19 開催

3. 広報活動

- ① 広報紙「紫雲会東京」14号を発行
② 東京支部ホームページの内容充実と共に情報発信に努める。

4. カルチャー活動

- ① 会員作品展の開催
② 会報「投稿コーナー」の充実
③ 表彰対象者の募集

5. 基盤強化活動

- ① 会員名簿の充実とメンテナンス
② 新規会員の掘り起し
③ 年次同窓会の開催支援
④ 役員の拡充
⑤ 年次幹事の拡充
⑥ 小規模での交流活動 (ボーリング。ウォーキング。カラオケ。懇親会) の開催
⑦ 若年層世代へのアプローチ

6. 紫雲会

(本部) (大阪支部) 及び学校との連携。

学校創立120周年記念式典及び総会
11月24日(火)

大阪支部70周年記念総会
9月21日(月)

「そーだ!」

高松 行こう!!

高松商業創立百二十周年記念
紫雲会東京支部親睦交流会・
紫雲オリーブ会 (女子会)
合同企画

紫雲オリーブ会 委員長 S 46 年卒
岡本えり子

「ふるさととは遠きにありて思ふもの」
室生 犀星

高松を離れて? 年。首都圏での生活が長くなりましたが、母校での楽しかった青春時代の思い出は、懐かしく忘れることはできません
高松商業創立百二十周年記念式典 (令和二年十一月二十四日) を機にもう一度、母校の門をくぐってみませんか?
式典前日 (十一月二十三日) 海を庭にもつ四国最北の湯宿で一泊。
懐かしい潮風と瀬戸内海の絶景を眺

第15回

ゴルフ大会のご案内

親睦・交流委員長 S 39 年卒
大森 正

令和2年度「第15回紫雲会東京支部ゴルフ大会」を下記の通り開催いたします。

ゴルフ愛好者のご参加をお待ちしております。女性のご参加大歓迎です。若手会員のみなさまもごぞつてご参加ください。

記

1. 日時
- 令和2年10月7日(水)
集合9時
(スタート アウト9時27分
(7組)

めながら温泉で癒され、瀬戸内の幸に舌づつみ

心ゆくまで語り合い、諸先輩の築いていただきました東京支部の更なる発展と絆が強固になりますことを信じて企画致しました。

皆様のご賛同、ご参加を準備委員一同、心よりお待ちしております。

● 日 時 令和2年11月23日～24日
午後三時現地集合

(高松駅 ホテルマイクロスバス予定)
● 宿泊先 庵治観光ホテル 海のやどり
高松市庵治町5494

Tel 087-871-3141 (代)

● 会 費 14,000円
(宿泊・食事・飲み放題)

● 解散 11月24日 高松商業
(マイクロスバス・乗用車予定)

● 申込先・〆切日
幹事代表 岡本えり子

TEL 090-3963-8011、
FAX 0476-46-9808、
〆切日 令和2年10月23日(金)

2. 会場

CPG カントリークラブ
千葉県市原市川在974
TEL

0436-36-1251
クラブバス

JR 五井駅東口 8時30分
(バス利用は事前予約が必要です)

3. 会費

16,000円
(プレー費、食事、パーティ、
賞品代含む)

4. 申し込み先

幹事 大森 正
TEL・FAX
043-273-2662

5. 締切

令和2年9月10日(木)

令和元年度
作品展示会



日本画 小原 清氏 (S33年卒)

写真 入谷 稔氏 (S39年卒)

写真 中西 勲氏 (S33年卒)



油彩 片岡 英明氏 (S32年卒)

写真 池田 政廣氏 (S39年卒)

日本画 谷村虎之介さん
谷村 祥子氏 (S56年卒) のご子息



書道 岩崎 智雄氏 (S32年卒) 書道 築地 佐和子氏 (S56年卒)

写真 谷本 清彦氏 (S32年卒)

写真 関 邦義氏 (S33年卒)



ハンドボール部の応援風景



令和元年10月5日

ハンドボール部

第74回茨城ゆめ国体

※関連記事／8面・10面



歴代優勝校校旗



野球部 熱戦、応援風景

野球部 第101回全国高校野球選手権大会応援風景



応援相談



力投するエース



ヤッター、タイムリーヒット!!



プレイボール



応援団への挨拶へ

和歌山インターハイ優勝 茨城国体優勝

ヨット部顧問 樋上聡史



昨年、一昨年と女子で全国大会優勝を果たしましたが、今年は男子種目で、インターハイと国体の二冠という快挙を達成することができました。

五月の大会では、ライバルチームに逆転負けをし、選手たちはとても悔しがるとともに自分たちの弱点を克服するためよりいっそう練習に励みました。和歌山で開催されたインターハイでは、台風十号の影響による大会日程の変更や不安定な海面のコンディションのなか、参加チームのなかでもっとも安定

した順位を獲得し、石川和歩・犬伏亮太組が優勝しました。また、学校対抗でも総合優勝することができました。

茨城県の霞ヶ浦で開催された国体では、淡水でのレースという初めての環境でしたが石川・犬伏組は湖面の特徴をいち早くつかみ、インターハイに続き優勝をすることができました。また高商の生徒は昨年から引き続き全員入賞という目標を達成することができました。

彼らの強みは、コンビネーションはもちろんのこと、レース展開が悪くなっても順位を挽回できるボートスピードを持っていたことと先を読んだコース選択ができたことだと思います。来年も現部員が今年の輝かしい成績に続き、全国に「高商」の名前を轟かしてくれることを期待しています。

「失敗」と書いて「せいちょう」と読む

野球部監督 長尾健司



まず初めに、「第49回明治神宮野球大会」「第91回選抜高校野球大会」および「第101回全国高校野球選手権大会」の出場に際しまして、紫雲会のみなさまをはじめ、数多くのご支援とご声援をいただき、ありがとうございます。

23年ぶりの夏の甲子園に帰ってくるものが出来ましたが、新チーム当初は、全国大会で戦うことを想像することすらできないくらい個々の能力は低かったと思います。新チームのスタートは、夏の3回戦敗退という「失敗」からの

令和元年 インターハイ・国民 体育大会・全国選抜大会出場

ハンドボール部顧問 河合 哲



8月3日、熊本県でインターハイが開催されました。15年連続31回の出場を果たしました。

が、1回戦で大分県代表大分高校と対戦し、残念ながら勝利することができませんでした。

10月3日、茨城県で国民体育大会が開催され、四国代表として出場し5位という結果を残すことができました。3年生にとっては高校生活最後の大会で結果を出すことができてよかったと思います。

その後3年生が引退し新しいチーム

昨年度を 振り返って

柔道部顧問 H21年卒 大高直土



1月12・13日に行われました全国高校柔道選手権大会香川県予選において、男女団体戦

優勝、男女個人戦5階級で優勝することができました。男子団体において

は、5年連続22回目。女子団体では15年連続15度目の全国高校選手権出場と、なる予定でした。しかし、この度の新型コロナウィルスの影響により、大会の中止と練習の自粛が発表され、心にぽっかりと穴が開いたような心境です。一刻も早い事態の収束と、今後の大会の開催を願っております。

で全国選抜大会に向けて始動し、全国選抜大会県予選、全国選抜四国予選を勝ち抜き15年連続29回目の出場を果たすことができました。しかし、新型コロナウィルスの影響で大会は中止となり、自分たちの練習の成果を発揮する機会を失ってしまいました。それでも生徒たちは新しい目標に向かって頑張ってくると信じています。全国大会出場ではなく全国大会での上位を目指し今後も努力してまいります。紫雲会の皆様方にはお忙しい中会場まで駆けつけ熱い声援を送っていただき大変感謝しております。本当にありがとうございます。

マーチング全国大会 2年連続銀賞

吹奏楽部顧問 香川聡士

今年度も定期演奏会が終わった8

昨夏に鹿児島県で開催されたインターハイにおいては、男女団体戦出場、男女個人戦8階級の出場を果たすことができました。中でも男子個人190kg級の三谷雄大が5位入賞という結果を残してくれました。怪我で苦しみながらもコツコツと努力を重ねたことが結果に表れたのだと思います。また、昨年4月に開催されました、女子全日本選手権（皇后杯）に出場を果たした村井杏弥の試合にも応援に駆け付けていただきありがとうございます。

昨年度、紫雲会の皆様には温かいご支援を賜り本当に有難うございました。今後の大会では昨年度以上に良い結果がご報告できるよう日々努力していきたいと思っています。今後ともご支援、ご声援よろしく願います。



月下旬から練習を始めました。今回はダンテの「神曲」をテーマに選り、地獄から天国へと続

く世界を表現する為に黒から白の衣装への早着替えにも挑戦するなど、より一層作品の世界観を表現できるように工夫して大会に臨みました。

全国大会は12月15日（日）にさいたまスーパーアリーナで開催されました。当日は楽器搬入口が大変混雑し、落ちていて準備をする時間も与えられていないままリハーサル、そして本番へと突入しました。本番では何度も練習してきた早着替えにも成功し、大きなトラブルもなく演奏演技を披露することができました。結果は2年連続の銀賞で悔しさもありますが、結果よりも嬉しかったことがあります。それは、生徒が誰一人として不利な状況に対して不平不満を言う訳もなく、これまでの練習の成果を発揮しようと集中して本番のステージに臨めたことです。技術的な成長だけではなく、精神面での成長を感じる事ができ、顧問として非常に嬉しく感じました。

最後になりましたが、ホテルまで激励に来ていただいた北條支部長様、池田常任理事様をはじめ、会場で応援していただきました紫雲会東京支部の皆様、本当にありがとうございます。今後とも心温かいご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

春高バレー4年ぶり 10回出場

バレー部顧問 谷畑祐二



私は昭和61年卒の谷畑祐二と申します。この度、久しぶりの春高バレー出場に際しま

して、東京支部の方々には応援等、大変お世話になりました。早速、原稿執筆依頼を頂戴し、誠に恐縮ではありますが、お礼も兼ねまして執筆したいと思います。

第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会が令和2年1月5日から武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されました。本校女子バレー部は、1回戦で福岡代表の誠修高校（九州選手権1位）と対戦しました。試合は序盤から高速速攻バレーやブロックなどで終始リードし、25-23で1セット目を先取しました。しかし、2セット目は相手の高いブロックとレシーブに苦しみ、19-25で落とした。最終セットは23-25と、最後まで接戦を演じましたが力及ばず、セットカウント1-2で敗れてしまいました。やはり、大事な場面で相手を突き放す攻撃力がまだまだ足りないと感じました。

さて、今大会は、梶校長先生の熱い思いから、チアリーダー・応援団・有志生徒らが香川から東京まで大型バス2台を貸し切って応援に駆けつけてくれました。本当に頭が下がる思いとやらないかんといい決意が選手たち、指導者の中にも満ちあふれていた大会でした。

最後に、選手達のために真っ赤なジャンパーを着て、鉢巻を締めて最後まで大声援をして頂いた東京支部の有志の方々には本当に感謝しております。さらには、滞在ホテルにて選手らに激励を頂戴しました、北條支部長、池田副会長、安西彰常任理事様に対しましては重ねてお礼申し上げます。

次の春高バレーは東京体育館での開催に戻ります。来年もまたオレんジコートに戻ってこれるよう、一丸となって頑張っていくつもりです。で、今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしく願います。

紫雲会会長挨拶

紫雲会会長 S 43年卒 岡 義博



紫雲会東京支部の皆様には日頃から紫雲会に対し、格別のご支援、ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

東京支部は本年87周年を迎えるとお聞きしています。長年にわたり、首都東京で卒業生の親睦及び支援の活動に感動を覚えるものです。支部を牽引してこられた歴代の支部長はじめ役員の皆様方の活動に敬意を表する次第です。

今年は、新型コロナウイルスの影響により世界中が混乱しています。東京でも感染者数の増加が続き心配な状況であり、終息時期も見えていません。皆様、健康に留意して過ごして下さい。経済活動も停滞しています。

紫雲会大阪支部長挨拶

紫雲会大阪支部長 S 40年卒 北畠昭二



東京支部の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

東京支部におかれましては、長年の歴史と伝統に培われた支部組織のもと、会員が「丸」となつて、日々充実した支部活動を行つておられますこと、誠に素晴らしく思っております。

特に会報「紫雲会東京」を通しての総会や各種行事の広報と会員間の情報交換が図られ、東京支部のまとまりと活動の源となつていると思います。

ところで、大阪支部も今年で支部創立70周年を迎えることになります。新型コロナウイルスの流行により、開催を9月21日に延期して、ホテルグラン

いますが、何とか頑張つて頂きたいと思っています。

さて、母校においては、昨年度は野球部が春と夏の甲子園大会に出場しました。夏の選手権大会は20年ぶりですし、春夏の連続出場は23年ぶりの事です。その他の運動部も多く全国大会に出場していますし、文化部においても同様です。後輩達は、まさに「部活の高商」の本領を発揮してくれています。

本年は母校の創立120周年の年となります。そこで、記念式典をはじめ、南体育館建て替えに伴う備品の整備、記念講演会、記念誌発行などを企画しています。皆様には常々お世話になっている上に恐縮ですが、記念事業推進のための募金にも何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京支部の益々のご発展と支部会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。とさせて頂きます。

ヴァア大阪において記念総会を予定しております。私共大阪支部挙げて盛大な素晴らしい記念総会にと頑張っておりますが、それには東京支部の会員の皆様のご協力が大きな助けになります。どうか多数の皆様のご出席をよろしくお願い申し上げます。

ところで、現在の卒業生は私共のときとは逆に女性が多数を占めております。そのような時代の流れに合わせ、紫雲会活動も女性会員に向けた取り組みや事務局役員への積極的な登用も図っていかなければと思っております。

そして、東京支部と共に高松の本部を支える両輪として、これまで両支部の先輩諸氏が築かれた伝統と連携協調の和をより層深めるべく、大阪支部も紫雲会活動に努めていきたいと思ひます。

最後になりましたが、紫雲会東京支部の今後の益々のご発展並びに会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

学校長あいさつ

香川県立高松商業高等学校長 梶 正司



紫雲会東京支部の皆様方におかれましては、日頃より本校の教育活動に對しましてご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在、この原稿を書いております3月、全国すべての学校が臨時休業という前代未聞の事態となつております。高商も生徒が一人も登校せず、部活動も禁止という火の消えてしまったような日々が続いております。毎日の地道な努力の末手にした全国大会もすべて中止が決まり、生徒たちも大変残念な思いをしているところです。4月6日には始業式を行い令和2年度がスタートしますが、毎日のニュースを見ておりますと、そう安心して学校が再開できる雰囲気ではありません。一日も早く、新型コロナウイルスに怯えることなく、日常の生活が送れる日々に戻れることを願っております。

さて、昨年は23年ぶりの春夏連続の甲子園出場という感動の年でありました。その折には、多額のご寄付や現地にまで足をお運びいただいたの応援、誠にありがとうございます。

そして今年1月には春高バレー全国大会が調布で開催され、その際も多くの先輩方の応援をいただくことができました。大勢の応援に来ていただく先輩方にお会いするたびに心底、母校を愛しておられるのだなと感心するとともに、大変力強く感じております。

今年、高松商業高校は創立120周年を迎えます。玄関には「120年の歩み つなげよう伝統を 創ろう輝く未来を」というスローガンを記した紫紺の懸垂幕を掲げ、この記念すべき年を盛り上げていきたいと考えておりますので、今年度もどうぞよろしく願ひいたします。みなさまのご多幸をご祈念申しあげ、ご挨拶いたします。

令和元年度 紫雲会総会

令和元年9月23日(月)に高松市西宝町の峰山中腹にある喜代美山荘花樹海で「紫雲会総会」が開催されました。

当日の出席者は4名の歴代校長先生はじめおよそ220名で、昭和20年卒の大先輩から平成26年卒までおよそ年齢差70歳でした。

会場からは目の前に波穏やかな瀬戸の海 東は市街地と屋島を望むという絶好の場所です。

懇親会では甲子園で春夏の甲子園でも大活躍したチアリーダーディング部員による元気あふれる特別演技に出席者から大きな歓声が上がりました。

令和2年度は 学校創立120年記念式典 総会を11月24日に開催することが発表され再会を約してお開きになりました。

令和元年度 大阪支部総会

令和元年6月8日(土)に心斎橋の大成閣で「紫雲会大阪支部定期総会」が開催されました。

当日の出席者数は109名で、昭和22年卒の大先輩から平成30年卒の学生までおよそ年齢差70歳でした。

大阪支部では同好会活動が活発に行われていきます。ふれあいピンポン・ゴルフコンペ・歩こう会・同期会・囲碁等いずれも年2回程度開催し、活発な活動をしています。また地区別の小さな同窓会も実施しています。

懇親会では 毎年恒例の大カラオケ大会には多くの出演者が 自慢の歌を披露して大いに盛り上がりしました。

令和2年は大阪支部70周年記念総会になるということで更なる発展を期してお開きになりました。



仲よし三人娘



恒例人気のカラオケ大会



チアガールも総会で大活躍！



会場から屋島方面を望む

令和2年度

会報賛助金提供者

●一万円 鈴木 伸二 (昭和40年卒)

●五千元 宇田川四郎 (昭和31年卒)

佃 昭幸 (昭和31年卒)

安西 彰 (昭和32年卒)

片岡 英明 (昭和32年卒)

谷本 清彦 (昭和32年卒)

関 邦義 (昭和33年卒)

中西 勲 (昭和33年卒)

吉川 俊夫 (昭和33年卒)

山中イツ子 (昭和34年卒)

造田 貞男 (昭和36年卒)

吉田 勝昭 (昭和36年卒)

斎藤 昭 (昭和36年卒)

黒川 達夫 (昭和36年卒)

北條 勇 (昭和39年卒)

池田 政廣 (昭和39年卒)

桑島恵美子 (昭和39年卒)

入谷 稔 (昭和39年卒)

大森 正 (昭和39年卒)

香西 久信 (昭和39年卒)

西木 茂雄 (昭和41年卒)

藤川 和信 (昭和46年卒)

岡本えり子 (昭和46年卒)

串田 裕司 (昭和46年卒)

滝 健一 (昭和50年卒)

萬納 宏俊 (昭和51年卒)

前田 裕弘 (昭和54年卒)

●三千元

高畠 武司 (昭和36年卒)

宮本 洋子 (昭和38年卒)

松濱 明貴 (昭和39年卒)

大谷美恵子 (昭和40年卒)

室井三千代 (昭和42年卒)

久保 文典 (昭和45年卒)

本多 市子 (昭和46年卒)

瀬尾 栄子 (昭和46年卒)

塚本 初江 (昭和49年卒)

福西佐都美 (昭和51年卒)

樽谷 昌彦 (昭和52年卒)

生駒 真澄 (昭和55年卒)

太田郁治郎 (昭和56年卒)

「ご協力ありがとうございました。」

東京支部
俳壇・歌壇

川柳 俳句 短歌

S 32年卒 安西まさる様

・沢山の恩人がいる花の道
・哀しみの深さを知らずメールする
・ふるさとを放棄している傷がある
・母校勝つ古新聞が捨てられぬ
・同じこと聞いてあげるのは他人

S 33年卒 吉川俊夫様

・水茄子が出てこそ夏と思いきり
・小雀の羽根とおぼしき吹かれきて
・小刀で削る鉛筆昭和の日
・花山葵水音せずも水動く
・一句添へ母に供ふる栗ご飯
・黒揚羽生きてなほ良し死にても可
・思い切り泣かせ健やか泣き相撲
・夕焼けて心ひそかに足るを知る
・通信の技がどこまで進めども

・やはり頼りは以心伝心
・虐待を受けて旅立つ幼子の
ひとときわ凝りしよき名を持ってり
・蟬螂は鎌を納めて待るかな
・縋りし茎を風がゆさぶる

S 36年卒 吉田勝昭様

・病院ではポイント加算ありません
・合コンがりポピタンよりファイト
・でる

・実力はないが気力は無限にある
・人材は足りず人手は余り過ぎ
・近頃は影に叱られ背を伸ばす
・出迎えたおんどり夜はおもてなし
に（ネパールにて）

S 37年卒 若宮利夫様

・園庭の垣根は日ごとに緑増す
・知恵つく園児と張り合うがごと
・園庭に雨が残した水溜り
・卵は産むな塩辛蜻蛉
・多摩川の河原に生える土筆ん坊
・子らに摘まれてままごこの菜に
・胃カメラの捉える赤い斑点を
・カットカットで安心ゲット
・男木島の海暮れゆきて灯台の
光の帯は定かになりぬ

元高商教師 森 孝枝様

五行歌

・千手観音千の春陰持ち給ふ
・祖父よりの子規全集や春の塵
・対なして相寄らぬ影内裏雛
・春暁や母の腕に目覚むごと

S 35年卒 福家貴美様

・茹でた うずらの卵を
半分につければ
・茶の花の つぶらなひとみ
・汚れを洗い 汚れを流し
やがていつしか
・洗いざらしの 風合いを いと
おしむ

第13回 会員作品展 作品募集

○絵画・版画

・出品点数 2点以内
・大きさ 30号まで

（申込先）片岡 英明
TEL 090・7282・0325

○写真

・出品点数 2点以内
・大きさ 全倍まで

（申込先）谷本 清彦
TEL&FAX 047・346・3934

○書道・工芸 等

・出品点数・大きさ 相談

（申込先）谷本 清彦
TEL&FAX 047・346・3934

申込期限 9月30日（水）

（注）①額装・パネル等のサイズを通知のこと
②多数応募時は、展示数調整もあります

搬入 10月10日（土）

・総会会場午前9時30分
〒104-0061
東京都中央区銀座7-13-20
サンミ高松7丁目店
TEL 03・3546・8182

（注）①宅配利用の場合 右記へ
10月9日（金）午前中「配達指定のこと」
搬入・搬出の運賃は支部で負担します
②吊下げ用ヒモ事前に取付けのこと

撤去 総会終了20分後各自実施
担当 谷本 清彦



第14回ゴルフ大会 参加者一同



小江戸川越に到着、散策前にハイチーズ。



鈴掛の道、涼しい木陰で

令和元年度 定期総会風景



S40年卒の皆さん



和やかに歓談中の総会風景



高松から来られた甚句の方々。



S31年卒の皆さん



梶校長先生挨拶



S36年卒の皆さん



飲んでまーす！



司会担当は
串田 間瀬の両名



紫雲会北畠大阪支部長挨拶



紫雲会本部岡会長挨拶



久しぶりに会ってご機嫌です。

ふるさと「香川県」情報

前香川県東京事務所長 星加宏明



紫雲会東京支部の北條支部長をはじめ会員の皆様方には、ふるさと香川の発展のために温かいご支援、ご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

さて、ふるさと香川は、今、元気いっぱいです。

昨年、アメリカの「ニューヨークタイムズ」で、「2019年に行くべき52カ所」に日本で唯一、「瀬戸内の島々」が選ばれるなど、「瀬戸内」という言葉が海外を含む多くのメディアで取り上げられました。

世界から注目が集まる中、瀬戸内海の12の島々などを舞台にした現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2019」は、国内外から約170万人を超える方々にお越しいただき、過去最高の人出で、盛況のうちに閉幕しました。

また、海外の大手旅行予約サイトが発表した「2020年に訪れるべき目的地10選」では、日本で唯一、「高松市」が取り上げられるなど、香川県の注目度はますます高まっています。

東京オリンピック・パラリンピックは1年程度延期になりましたが、国内外から多くの方々の来県が期待されています。県では、この好機を逃がすことなく、より一層県の魅力を発信し、交流人口の拡大、地域の活性化に繋げていくことにしております。

皆様方には、引き続き「元氣な香川づくり」に温かいご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、紫雲会東京支部のますますのご発展を祈念申し上げます。

東京事務所長在任の2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

前支部長代行

榎本恵一君を偲ぶ

名誉支部長 安西 愈



榎本恵一氏



同級生（昭和三十二年卒）の榎本恵一君が令和元年八月五日脳梗塞で闘病中のところ行年八十歳で旅立った。高商卒業以来六十三年にわたる長い関係である。

彼は、大会社イオン（株）の営業統括本部長で専務取締役から経営破綻したヤオハン再建の腕を買われて、更正会社マイカルの社長として赴き、全員から退職届を出させて、そして全員新入社員として採用して入社式を挙行するという前代未聞のスタートで、社員の活性化と自主制を引き出すなど新生マイカルとしてみごと再生させたという輝かしい成功のみが世間で語られている。しかし、実は高商卒業後大阪船場の衣料問屋に丁稚奉公し、問屋回りの自転車掃除が毎朝の日課であったという厳しい徒弟勤務の日々から彼の職業人生が始まった。そして、最初に就職した問屋は倒産し、店に置いてあった私物まで債権者の取り付け騒ぎにあったという経験もしている。

同級生で、大手商社に就職した十河正市君は、彼が店の前で自転車掃除をしている姿を見ておれないと通勤路を代えたという。その十河君は後日労組書記長として指導した会社での大争議に敗れ、自殺未遂事件を起こし、榎本君が駆けつけ励ました。その頃、野村證券大阪支店に転勤してきた長尾勝君から「今の榎本を見ていると不安だ」、「商売を覚えるより経済を知るのが先だ。経済の本を

読め。」と発破をかけられて、経済の勉強をするようになり、それが後のジャスコ社内大学院で彼が頭角を現し、岡田社長の子の島崎千鶴子常務に見出される布石となったとよく彼から聞かされた。

この三人の若き日の交友の物語は、二十年前の高商百周年記念講演で「青春の絆」として私が在校生に話をした。

彼は、船場の問屋から、スーパー・シロに転職、シロがオカダヤ・フタギと合併し、ジャスコとなり、初のスーパーの店長となった姫路店では開店の直前に火災が発生し、不眠不休でオープンにこぎつけたことから、その後の栄進の道が拓けた。

今から十八年位前、当時の溝渕支部長より紫雲会東京支部の大改革の号令が出て、榎本君が中心となり「みんなの紫雲会」を目指して今日の組織の基礎や「紫雲会東京誌」の発行、支部長任期制、ホームページ開設、会費制の実施などご存知の今日の紫雲会東京支部の基礎を築いた。また、

香川県人会の改革にも努めた。我々にとつて惜しい友人が亡くなってしまった。延命治療を拒否して尊厳死を選び、最後まで彼は自分の生き方を貫いた。

（哀悼）

東京香川県人会だより

東京香川県人会副会長 S39年卒

北條 勇

令和元年11月14日（木）に東京プリンスホテルで「東京香川県人会総会」が開催されました。

紫雲会の出席者数は28名で、前年の100回記念総会の半減となりました。総会後の懇親会は、さぬきの特産品「オリーブ牛」「オリーブはまち」を始め、美味しい料理とさぬき弁で盛り上がりつていましたし、やはり「さぬきうどん」の屋台は長蛇の列でした。お楽しみの抽選会もありましたが、閉会

東京香川県人会第102回定期総会のご案内

今年も『東京香川県人会総会』を盛大に開催いたします。香川県産食材（オリーブ牛 オリーブはまち等）を使った美味しいお料理や香川県産のお酒をご賞味いただけます。昨年の第101回総会に紫雲会東京支部は28名の皆様に参加していただきましたが、今年は多くの皆様にご出席をいただくよう心よりお待ちしております。

開催日時 令和2年11月19日（木） 18時～

会場 東京プリンスホテル 2階「鳳凰の間」（港区芝公園3-3-1）

次第 総会、懇親会、アトラクション、お楽しみ抽選会、さぬきうどんコーナーなどお楽しみ企画が盛りだくさんです。

*全員に香川県産のお土産を用意しております。

参加費 8,000円（学生3,000円）

開催案内は9月中旬に送付する予定です。ホームページにも掲載する予定です。

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/Tokyo/index.htm>

ご案内を希望される方は、東京香川県人会事務局へご連絡ください。

東京香川県人会にご入会いただくと、毎年ご案内を差し上げます。

【お問い合わせ先】 東京香川県人会事務局

電話 03-5212-9100

時間があつという間に来てしまいました。

ところで、三田にあります「東京讃岐会館」は周辺の再開発事業に伴い、8月末を以って閉館することになっていましたが、この処の新型コロナウイルスの感染拡大で宿泊者・利用者が激減したため閉館時期を早め、4月末で閉館することになりました。



の夏の甲子園出場を果たしました。甲子園での試合は残念ながら1回戦敗退でしたが春・夏連続出場に応援団は大いに盛り上がった大会でした。

また、インターハイでは、ヨット部の男子コンバインド・420級で見事優勝、他にもハンドボール（女）、卓球（女）、バレーボール（女）、陸上（男）、柔道（男女）、バドミントン（男女）空手が出場し活躍しました。国民体育大会では、ヨット部男子が420級で優勝、ハンドボール（女）バドミントン（男女）卓球（女）弓道（男）が出場を果たしました。特に、インハイと国体を制したヨット部（男）はポルトガルで行われた世界選手権にも出場しました。文化部も珠算・電卓、ワープロ、商業研究、吹奏楽、書道、放送部が各種大会において優秀な成績を収めました。

バレーボール部の春高応援をはじめ、関東での大会開催の折には、東京支部の方々にお忙しい中わざわざ会場に足を運んでいただき、熱い応援や激励など、どれだけ生徒の励みになったか、本当に感謝いたしております。

さて、今年度、高松商業高校は創立120周年を迎えます。令和2年11月24日（火）に記念式典、記念事業を行う予定です。さらなる高松商業の発展のために是非とも成功させたいと思っています。東京支部の諸先輩方あるいは同窓生方におかれましては、今後ともますますご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。近況報告とさせていただきます。

学校だより

香川県立高松商業高校紫雲会事務局 S61年卒 谷畑祐二



東京支部の皆さんには、日頃より大変お世話になり、この場を借りましてお礼申し上げます。

さて、令和元年度も多くの部活動が全国大会、四国大会等で輝かしい成績を収めました。野球部は、夏の大会において英明高校との決勝戦で、劇的なサヨナラ勝ちを収め、23年ぶり20回目





目指せ優勝！軽快に走る高商ヨット部。



熱戦でハラハラ、ドキドキのバレーボール応援風景



全国大会写真



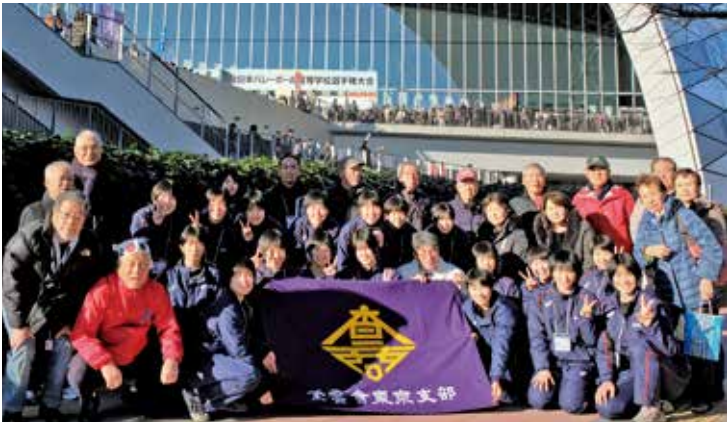
レース開始を前に円陣を組むヨット部の選手。



奮闘中のバレーボール部



剣道部 女子出場メンバー



女子バレー、試合後のひと時、選手と応援団合同で。



強烈なスパイク決まる！！



マーチングバンド出場のメンバー

秋山典久
(昭和52年卒)
メール
na11jp@yahoo.co.jp

税理士

大宮区土手町二一八六一

株式会社 全日警ビルサービス
代表取締役 堀 眞英
本社 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町一丁目一番12号
TEL 03-5561-7777 (フリースタイル階)
FAX 03-5561-7774 (コーポレート)

AMS

(昭和54年卒)



S38年卒の皆さん



S54年卒の皆さん

令和元年度 定期総会



令和元年支部表彰 山中イツ子氏(34年卒)

10部からつくれる<自主出版>
写真集や、あなたの“生きた証”を振り返り、
長く歩いて来た道や思いをつづる「自分史」。
廉価で綺麗に出来ると好評です。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町4-17 クスノキビル
(有) ひまわり印刷 ☎(03) 3235-1488
e-mail: info@himawari.co.jp
楠 昭次郎 (昭和35年卒)

北畠税理士事務所

税理士 北 畠 昭 二
(昭和40年卒)

事務所 大阪市北区南森町2丁目2番2号
南森町千代田ビル9階A号室
〒530-0054 電話 (06) 6131-7711 番
FAX (06) 6131-7712 番

岡義博法律事務所

弁護士 岡 義博
(昭和43年卒)

〒760-0033 香川県高松市丸の内7番20号
丸の内ファイブビル5階
TEL: 087-821-1300/FAX: 087-821-1833
mail: oka-law@kln.ne.jp

安西法律事務所

弁護士 安 西 愈
(昭和32年卒)

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目4番地1号大倉別館3階
TEL 03-3563-3225~7
FAX 03-3561-2446

日本料理・イタリア料理・フランス料理

厳選素材を活かした四季折々の料理、お人数様に合わせた
洋風、和風の個室もご用意いたしております。

代表取締役会長 溝渕 利幸 (昭和28年卒)

銀座Sun-mi本店 〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9
TEL. 03-5568-3300 (総合受付)
銀座7丁目店・横浜 伊勢佐木町店